

# グリーン・キャンパス創造計画書

(環境保全 市ヶ谷・多摩共通)

2011年度

## 1. 省資源の推進に関する事項(環境方針2)

(責任者:事業室長)

No.	11年度環境目標	環境マネジメントプログラム	実施部局	スケジュール(年月)*
1-1	目標値は推定使用量の2%減とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー, リソ, OA用紙の使用量管理を行なう。</li> <li>・使用量抑制のための啓発活動を行なう, 特に教員への啓発を行なう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業室が統括</li> <li>・市ヶ谷・多摩キャンパスの事務組織(※)が取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4半期毎に運用状況を確認*</li> <li>・啓発活動を行なう。</li> <li>・(通年)小委員会の活動の情報をHPに公開する</li> </ul>
1-2	市ヶ谷・多摩キャンパスの大学発行物の非紙媒体化を促進し、実践例を公開・周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メール, 管理情報システム, 授業支援システムなどの積極的活用を推進する。</li> <li>・非紙媒体化の啓発活動を行なう。</li> </ul>	同上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内・学外の実践例を収集し広報する。</li> <li>・(通年)小委員会の活動の情報をHPに積極的に公開する</li> </ul>

※「事務機構図(市ヶ谷・多摩キャンパス)」による。

\* 4半期ごとに報告

2011年度  
1106 第1四半期報告  
1109 第2四半期報告  
1112 第3四半期報告  
1203 第4四半期報告

2. 省エネルギーに関する事項(環境方針2) (責任者:施設部長)

No.	11年度環境目標	環境マネジメントプログラム	実施部局	スケジュール(年月)*
2	市ヶ谷・多摩キャンパスのエネルギー使用量(電気・ガス・重油(市ヶ谷)・灯油(多摩))について、基準使用量の2.0%削減	(市ヶ谷・多摩キャンパス共通) ・照明装置の使用管理(屋内外とも) ・冷暖房装置の運転管理 ・その他の電気器具の使用管理(コピー機, PC, 湯沸かし器など) ・エレベーターの利用管理(上がり1階、下り2階は階段利用を心がける) ・ESCO事業の運営 ・「チャレンジ25キャンペーン」活動の推進 ・省エネ強化月間を設定する。 ・省エネを考慮した服装を心がける。 (市ヶ谷キャンパス) ・屋上緑化事業 ・ログライトアップ時間(20～22時)の維持 (多摩キャンパス) ・警備員が巡回する19時に未使用教室を消灯する ・イルミネーション点灯時間(12月1日～1月末)の維持 ・休暇中など学生が登校しない期間は自販機の稼働台数を減らすことを関係業者に要請する。 ・都環境確保条例への対策・検討をエネルギー・温暖化対策小員会メンバーで継続的に行う。	施設部が統括し、市ヶ谷・多摩キャンパスの事務組織※が取り組む	・4半期ごとに運用状況の確認 ・夏季(6～9月)省エネ強化月間 ・冬季(11月中旬～3月中旬)省エネ強化月間の設定

※「事務機構図(市ヶ谷キャンパス・多摩キャンパス)」による。

3. グリーン購入の推進に関する事項(環境方針2)(責任者:事業室長)

No.	11年度環境目標	環境マネジメントプログラム	実施部局	スケジュール(年月)*
3-1	学内外印刷について、用紙の使用状況を調査する。	学内外印刷での再生紙利用、グリーン購入等を啓発するポスター等を作成し、周知徹底する。	市ヶ谷・多摩キャンパスの事務組織※が取り組む	
3-2	09年度に引き続き、「グリーン購入ガイドブック」を環境省冊子「環境物品等の調達に関する基本方針」に準じて更新する。購入状況を調査し、公表する。	環境省冊子「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」を参考資料として掲示板に掲載する。 グリーン商品(消耗品)に関する調査(カタログ更新) グリーン購入ガイドブックの更新と同ガイドラインの周知 利用に関する学内調査	市ヶ谷・多摩キャンパスの事務組織※が取り組む	・環境省冊子「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」を参考資料として掲示板に掲載する。
3-3	消耗品について、参考値として購入状況の集計は行う。	/	/	利用に関する学内調査(月次)

※「事務機構図(市ヶ谷・多摩キャンパス)」による。

※3-3については、古紙偽装問題発生に伴いデータ供給業者のグリーン商品対象基準が不統一となっている状況が続いており、問題解決の見通しがたっていない(2011年4月1日現在)。したがって目標管理は当面停止する。

4. 廃棄物の抑制と再資源化の推進に関する事項(環境方針2)(責任者:事業室長)

No.	11年度環境目標	環境マネジメントプログラム	実施部局	スケジュール(年月)*
4	市ヶ谷・多摩キャンパスから排出される一般廃棄物排出量(学生一人あたりの排出量)について、基準値(2009年度)をベースに推定学生数を考慮し2010年度で2%を削減する。	分別の徹底(学生・教職員・業者等) 有価物の再資源化の促進 機密性の高い文書の処理の取りまとめ 学生の課外行事での廃棄物削減の徹底化	事業室が総括 市ヶ谷・多摩キャンパスの事務組織が取り組む。	4半期ごとに運用状況の確認

※「事務機構図(市ヶ谷・多摩キャンパス)」による。

\* 4半期ごとに報告

2011年度  
1106 第1四半期報告  
1109 第2四半期報告  
1112 第3四半期報告  
1203 第4四半期報告

環境保全本部長	環境センター